
アクティブビーツ！

海苔島まさび

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

アクティブビーツ！

【Nコード】

N7317T

【作者名】

海苔島まさぴ

【あらすじ】

ひとをまずがいけんではんだんできるなんてとてもすばらしい時代にはくらはうまれましたね

「あー、おはようございます」

ボクが打ったありふれた「ソナー」に反応して、前をゆく人影に色が付く。

「あ、おはよう！」

それは漠然と同じ学校の女子制服だとわかるだけで、声でわからない以上ボクにはそれが誰なのか、まだわからない。

「いい天気ですね、今日は」

「また天気の話なんかして！ よそよそしいなあ」

『天気の話』を振ってこの反応ということは、ある程度候補が絞られた。

「つい、いい天気だったもんで。でもこの天気だと今日の二限の体育、マラソンになるだろうから、面倒だなあ、と思ったりして」

「げげー！ のげー！ めんどくさい授業アンテナ反応しましませんでした」

「しましませんでしたね」

その言葉遣いや精神的な距離感から判断して、彼女は一条まどりさん。同じクラスでたまに話すこともある、というレベルの知り合いと推測される。

彼女は見てのとおり誰に対しても打ち解けるのが早くて、あけっぴろげな性格ということもあり、クラスでも人気がある方といって

いい。特徴のある変な言葉を使うことが多いので比較的是なしやすい。

ボクからすると、日常的にこんな癖のある言葉を使って大丈夫なんだろうかと思うし、とてもマネできるとは思えない。だって「げげ」でゲゲゲの鬼太郎が連想されたからってそれをそのまま口に出すなんて。相手がもしゲゲゲの鬼太郎を知らなかったら、いやそれならまだしもゲゲゲの鬼太郎が大嫌いだったら？ ゲゲゲの鬼太郎ミュージアムを建てるために実家が立ち退きを迫られた人かもしれないじゃないか？

だが、その攻めの姿勢が彼女の個性をはっきりと形作り、声をかけた相手はいち早く彼女が誰なのかを察することができる。そうなれば、そこからは自分と彼女で共通の話題を振ったり、二人しか知らない話で盛り上がることでできる。そう思えば、『話してみるまで相手が誰なのかわからない』、こんな状況でも彼女はいきいきとしていられるのだろう。

学校が近づき、彼女は他の女友達に声をかけられ、「おはーおはおはー」とわめきながらバタバタと踊りながら去っていった。

次に彼女に声をかけることがあれば、一瞬で彼女、一条まどりさんだと判別できるだろう。彼女もまた、地味で話題もないボクに対しても、明るく楽しい話、流行の話題なんかを振ってくれることは間違いない。そうして、彼女のヒトとしてのカタチはボクの耳に刻まれてゆく。

そのとき、彼女がボクのことを誰だと思っているのか、知る方法はないけれど。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7317t/>

アクティブビーツ！

2011年10月7日03時23分発行